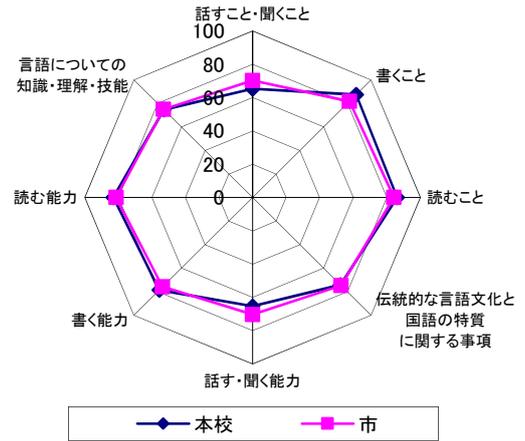


宇都宮市立海道小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	話すこと・聞くこと	65.3	70.3	68.2
	書くこと	87.5	81.7	80.6
	読むこと	86.2	84.3	84.3
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	74.2	74.7	72.7
観点別	話す・聞く能力	65.3	70.3	68.2
	書く能力	78.7	76.0	74.1
	読む能力	82.9	81.3	81.1
	言語についての知識・理解・技能	74.7	74.9	73.1

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	<p>平均正答率は65.3%で、市の平均を5ポイントを下回った。</p> <p>○与えられた情報を読み取り、話し合いの観点に基づいて情報を関係付ける問題の正答率は、市の正答率を1.6ポイント上回った。</p> <p>●「話し合いの内容を聞き取る」問題の正答率が16.7ポイント下回った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合い活動において、メモを取りながら聞いたり、司会者の役割を理解して話し合ったりする活動を多く取り入れる。 ・教科書の「話す・聞く」単元で、聞き取りメモの活用や話し手の意図を確認しながら聞くことを、常に念頭において授業を行う。
書くこと	<p>平均正答率は87.5%で、市の平均より5.8ポイント高い。</p> <p>○指定された長さで文章を書いたり、グラフから読み取った事実をもとに自分の意見を書いたりする問題の正答率が96.7%と高かった。これは、日常の中で、目的をもって自分の考えを書く活動を重視してきたことによるものと考えられる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、授業や日常生活の中で、目的をもって文章を書く時間を意図的に取ったり、日記指導を行ったりしながら、書くことに慣れさせるようにする。
読むこと	<p>平均正答率は86.2%で、市の平均より1.9ポイント高い。</p> <p>○登場人物の心情を読み取ったり、説明文の内容を的確に読み取ったりする問題が96.7%と高い正答率だった。これらは、授業において内容を読み取る活動を丁寧に考えさせてきた成果であると考えられる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、場面の描写や登場人物の心情を深く読み取らせるために、物語に触れる機会を増やしていく。 ・接続語に着目しながら、段落相互の関係を考えさせるなど、説明文の読解力の向上を図る。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	<p>平均正答率は74.2%で、市の平均を0.5ポイントを下回った。</p> <p>○第6学年配当漢字の読みは100%の正答率だったが、第5学年配当の漢字を書く問題の正答率が56.7%と低かった。</p> <p>●言葉の学習では、文の構成の理解や国語辞典の使い方の理解につまずきが見られる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の書き取り練習やミニテストを継続的に実施し、漢字の読み書き力の定着を図る。また、日常の中で、ノートや作文等で意識的に正しく漢字を活用し、語彙力を高めていく。 ・授業以外にも、意図的に国語辞典を活用する機会を増やし、国語辞典の使い方慣れさせるようにする。